

2023年9月4日

(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所
関西熱化学(株) 加古川工場

降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値（環境対策効果の予測値）
未達成について

加古川製鉄所では、2008年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）の自主管理目標値（環境対策効果の予測値）を設定し、その達成に注力してまいりました。

各種の降下ばいじん対策を実施し、目標値を下回る実績を挙げてまいりましたが、本日、加古川市より7月測定値が 3.25t/km²/月と自主管理目標値未達成の連絡を受けましたので、以下に報告させていただきます。

地域の皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

これまでの調査の結果、7月上旬に発生した製鋼工場の原料を搬送する設備からの発じんが主要因であると推定しています。

なお、当該設備については、7月中旬までに発じん箇所の集塵状態の改善等の是正措置を行い、通常の状態に戻しています。

引き続き、原因究明及び対策の検討を行い、その結果を兵庫県・加古川市に報告するとともに、詳細について後日改めて公表いたします。

<降下ばいじん 製鉄所影響値^{*1}（加古川市測定）>

測定地点	単位	3月	4月	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	1.02	1.77	2.22	2.51	3.25
別府小学校	〃	1.09	0.60	1.49	2.90	2.72
尾上小学校	〃	0.46	1.82	1.03	1.36	0.68

<加古川製鉄所長 中村 昭二 コメント>

降下ばいじん対策は、製鉄所の重要課題と位置づけ、これまで実施してきた低減対策の維持継続に鋭意取り組んできましたが、7月において自主管理目標値未達成となりました。原因の深堀りと再発防止策の検討を行い、安定して目標値を達成するよう注力して参ります。

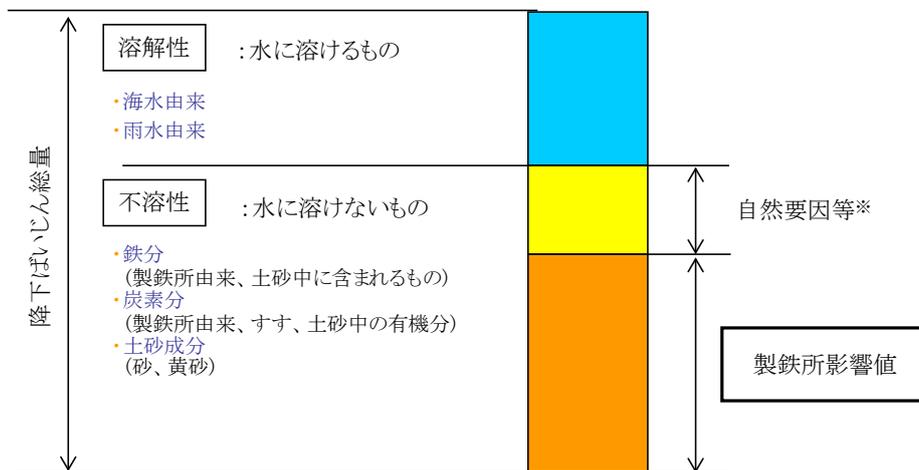
<関西熱化学(株) 加古川工場長 稲益 裕修 コメント>

社員一同、日々、降下ばいじん対策に取り組んで参りましたが、7月に自主管理目標値が未達成となりました。原因を調査するとともに現在取り組んでいる対策の維持継続に努めるようにいたします。

以上

※¹製鉄所影響値

粉じんの管理を強化するため、製鉄所近隣で加古川市が測定している3ヶ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の降下ばいじん量について、製鉄所影響値を3.0t/km²/月以下とする自主管理目標値を定め、'08年4月から運用しております。製鉄所影響値の算出の考え方を図1に示します。運用開始前の10年間における製鉄所影響値の最大値は6.6t/km²/月であり、それを半減以下にするという目標です。



※ 自然要因等: 環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値。

図1. 目標値を設定する降下ばいじんの対象